

9. 性質別歳出決算の推移

義務的経費は、前年度に比べて約7千万円の増となった。これは扶助費の増と人件費及び公債費の減との相殺増によるものである。投資的経費は、約8千万円の減で、その他の経費は、物件費の増等により約11億3千万円の増となった。

義務的経費（人件費・扶助費・公債費）は、過去10年間は430～450億円台で推移している。平成19年度は、対前年度比で約7千万円の増で約452億8千万円となった。構成比については、歳出合計額が増加したことにより0.6ポイントの減となった。

投資的経費は、一葉記念館新記念館整備終了等による減と（仮称）新台東病院整備の実績増による増などとの相殺により、前年度と比較して約8千万円の減となった。構成比は0.2ポイントの減で5.0%となり、平成10年度以降で最も低い数値となった。

その他の経費は、物件費の増や他会計への繰出金の増などにより、対前年度比約11億3千万円の増、構成比は0.8ポイントの増となった。

性質別決算額

単位：百万円

区 分	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
義務的経費	43,240	44,912	43,949	44,107	43,645	43,460	45,408	45,477	45,206	45,275
人件費	16,904	17,579	19,261	19,113	17,804	17,190	17,158	16,696	16,848	16,701
（うち職員給）	12,329	12,313	13,397	13,076	12,512	12,021	11,642	11,397	11,154	10,748
扶助費	21,180	22,041	20,223	20,495	21,161	21,560	23,645	23,759	23,229	23,596
公債費	5,156	5,291	4,465	4,499	4,680	4,709	4,605	5,022	5,129	4,978
投資的経費	8,881	12,096	12,244	10,987	8,588	6,112	4,549	4,608	4,350	4,267
その他の経費	31,025	32,221	29,617	29,150	29,538	30,672	29,619	30,840	34,552	35,685
物件費	12,979	13,117	11,491	11,475	11,159	10,933	10,471	10,439	10,731	11,352
補助費等	5,986	6,182	5,661	5,532	5,541	5,686	5,299	5,496	5,924	5,950
繰出金	3,272	4,004	7,751	7,143	7,694	8,774	8,409	8,663	9,500	9,960
その他	8,787	8,918	4,714	5,000	5,144	5,279	5,440	6,242	8,397	8,423
歳出合計	83,146	89,230	85,810	84,244	81,771	80,244	79,576	80,926	84,108	85,227

※その他の経費のその他は、維持補修費・積立金・投資及び出資金・貸付金である。

性質別歳出決算の推移(構成比)

